

BRM413 青梅 300 試走レポート

3月30日に試走を行いました。

■天気

スタート時点では視程 100m ほどの濃い霧が発生し、少し肌寒いかと思いましたが、霧が晴れると一気に気温も上昇し、Garmin の温度表示は 30 度に達しました。流石にそこまでは上がらなかったと思いますが、初夏を思わせる陽気でした。一転して、鶴峠の山頂では気温 12 度以下に下がり、下りではウィンドブレーカーを着用しました。

■ウェア

気温が上がるのが予想されたので、半袖ウェアに半袖インナー、アームウォーマ、七分丈タイツ、指切りグローブと、春の装備で臨みました。アームウォーマは暑くなったら外すつもりでしたが、結局そのまま完走しました。

■スタート～コントロール1



金町スタートの定番ルートで北上します。当日は濃い霧の中のスタートとなり、そのせいか交通量が多めでした。三郷・流山橋が開通し、ひさしぶりに橋周辺をまっすぐ進めるようになりました。また、昨年から続いていた、龍Q館前からキューシートNo.7の間の工事も予定通り

完了し、舗装し直された、走りやすい道になっています。



キューシート No.8 は足尾300 などでは右折して宝珠花橋に向かうところですが、今回はここを直進し、幸手方面に向かいます。



キューシート No.12 手前の権現堂桜堤は、桜の名所として有名です。試走当日は、東京には開花宣言が出ていましたが、まだつぼみの状態でした。これから開花が進み、本番当日は満開は過ぎているものと思われますが、それでも渋滞が発生する虞があります。人出も予想されます

ので、走行には注意してください。



キューシート No.13 はわかりにくい左折となっています。左側に北関東観光バスの営業所があり、その先の、写真の家が目印です。細い道に入りますので、間違わないようにしてください。



キューシート No.17 の正面には、関東最古の大社とされる、鷲宮神社があります。原作の20周年とのことで、該当にペナントが下がっていました。ここから先、No.18 宮前橋をわたってからは、細かい右左折がありますので、注意してください。

久喜市から加須市へ入り、コントロール1はセブンイレブン騎西日出安店となります。

■コントロール1～コントロール2



コントロール1を出発すると、左的騎西城の模擬天守が見えてきます。キューシートNo.27を左折すると、鴻巣市の市街地を抜けて、御成橋で荒川を渡ります。川幅日本一の橋ですが、片側1車線なので、交通量が多い場合は、歩道へ迂回してください。

御成橋を渡ると、道の駅いちごの里吉見があり、コース外となりますが、ここを右折すると、周辺サイクリストには有名な四方吉うどん店があります。今回は昼食には少し早いので、立ち寄りませんでした。



No.29を右折後、越辺川に沿って進み、毛呂山に入ります。キューシートNo.31左折後の県道30号には諸記事できる場所が多数あります。当日は、こちらで肉汁うどんを頂きました。



No.32 でカワセミ街道に入ると、こちらも由緒のある高麗神社前を通過します。鳥居横の桜が咲き始めていました。

No.34～No.38 はブルベでもよく使われる道です。青梅市に入り、帰りにコントロール4となるセブンイレブン前を通過し、秋川街道のニツ

塚峠を超え、日の出町からあきる野市に入ります。コントロール2のセブンイレブンあきる野戸倉店は、奥多摩周遊道路に向かう最後のコンビニで、近隣のサイクリストがよく利用します。到着時は、周遊道路帰りの方々が多く、これから登り始める人は少ない時間帯でした。

■コントロール2～コントロール3

コントロール2を出ると桧原街道に入り、今回のメインの上りが待ち構えます。秋川渓谷に沿って日陰が多くなり、少し肌寒さを感じました。檜原村役場前を過ぎ、キューシート No.45 を左折し、No.46 上川乗の信号を左折して、甲武トンネルへの上りに入ルト、一気に勾配がきつくなります。トンネルを過ぎて一旦下り、No.48 を右折すると、

今回のラスボス、鶴峠への上りです。登り始めて最初の集落に、駄菓子屋さんがあります。本当は酒屋の夜ですが、駄菓子と、ソフビ人形がお店の大半を占めています。ソフビ人形は販売もしているようなので、立ち寄ってみるのも面白いと思います。

鶴峠の上りは、2段階に分かれています。8kmほどの上りのあと、一旦2kmで100mほど下ってから2つ目の上りに入ります。全体的にはアップダウンの繰り返しが多くて脚を休められる部分もあり、平均斜度は甲武トンネルよりも低くなっていますが、それぞれの上りの最後の部分は、10%～13%の上りが続く部分も



あります。コースプロフィールなどを参考に、ペース配分を考えて登ってください。鶴峠バス停は峠の少し手前左側にあります。

■コントロール3～コントロール4

鶴峠を超えると待望の下りが始まりますが、キューシート No.51 までの区間は、勾配が急なうえタイトなヘアピンカーブが連続します。暗くなる時間帯でもありますので、オーバースピードに注意して下ってください。No.53 深山橋を渡ったあとは、トンネル区間となります。明るい時間帯であっても、テールランプを点灯し、後続車に注意して走行してください。No.54 からは、新しい、多摩川南岸道路を走ります。長いトンネルがありますが、道幅も広く、安心して走れます。コントロール4までの区間は、下り基調で、時間を稼げる区間です。鶴峠の上りで時間がきつめになると、ついつい飛ばしたくなりますが、今年からコントロールの時間制限が緩和されていますので、無理のない走行を心がけてください。

■コントロール4～コントロール5



青梅市街から、狭山の茶畑の中を走る茶処通りに入ります。キューシート No.64 が非常に分かりづらく、見落としに注意してください。写真の駐車場のところを右折し、国道 16 号を信号で渡ります。

入間市から狭山市、川越市を、通過しますが、この区間では、キューシート No.72、75 がコースミスしやすいので、注意してください。No.83 で国道16号を横断し、入間大橋、開平橋で入間川、荒川を渡ると、コントロール5はもうすぐです。



■コントロール5～ゴール

この区間はほぼ平坦区間です。住宅街を抜ける部分もあり、歩行者に注意して走行してください。コントロール5からしばらくは県道51号を走り、信号の多い区間となっていますが、東北新幹線の高架をくぐると、減少してきます。No.90は蓮田市のカントリーサインのあと、綾瀬川を割って

すぐの右折になります。また、No.100の左折は、時間帯によっては看板の照明が消えていて見えにくい場合があります。

No.108を左折してしばらく進むと、往路に合流し、見慣れた道に戻ります。ゴールのローソンは、葛飾橋を渡って、約2km、外環道手前になります。右側ですので、

注意して進入してください。レシート取得後は、キューシートの<ゴール後>のルートで、ゴール受けつけの松戸くらふいまでお越しください。走行後のご乾燥など、ぜひお聞かせください。

当日、皆様とお会いするのを楽しみにしております。